子供たちに安全・安心な食べ物を!母親の想いをカフェレストランに込めて ~こだわりの卵から生まれた6次産業化~ファーム・レラ / ファーマーズ・カフェ風土

<事業者の概要>

•所在地 : 北海道上川郡東川町

•代表者 : 代表 新田 由憲

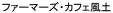
・取組内容 : 養鶏・稲作経営、カフェレストラン経営、

卵販売、プリン・焼菓子販売

•雇用者数 : 1名(H25)

•URL: http://blog.goo.ne.ip/miyuki rera







カフェレストランで 提供しているオムライス

【取り組むに至った経緯】

- 〇持続可能な、食べ物を自給する暮らしを目指して 新規就農した。
- 〇平成9年、子供たちが安心して食べられる卵づく りを目指し、鶏の餌にこだわった卵の生産をス タートした。
- ○採れたての卵や地元の食材を味わってもらいたい、卵を食べてくれる人と直接話がしたい、という想いからカフェレストランの開業を構想した。

【取組の効果】

- 〇売上高 カフェレストランの経営開始後、約1.8倍 に増加
- ○飼養羽数(採卵鶏) 400羽(H17)→800羽(H27)

【取り組む際に生じた課題と対応方法】

- ○女性に受け入れられるカフェレストランの看板メ ニュー等の開発
- →代表の妻が自らの家庭料理をベースにしたオム ライス等の看板メニューを開発した。
- →焼菓子等にかわいらしいパッケージデザインを 採用して女性ファンを拡大した。
- 〇来客数が大きく減少する冬季の集客
- →冬季に、カフェレストランでの映画上映会等のイベント開催、スローフード運動への参加等を積極的に行い、自分達の想いを消費者に伝えることで、口コミにより来客数が増加した。

【今後の展望】

- 〇地域ぐるみで農村の豊かさや食の魅力を発信するため、東川町の道の駅で「東川セット」(東川町産の米、卵、加工品等のセット)などの販売を予定。
- 〇平成27年から飼料用米の生産を開始。 今後は、餌に占める自家産飼料用米の 割合を拡大させて、これまで以上に餌に こだわった卵を生産したい。

